

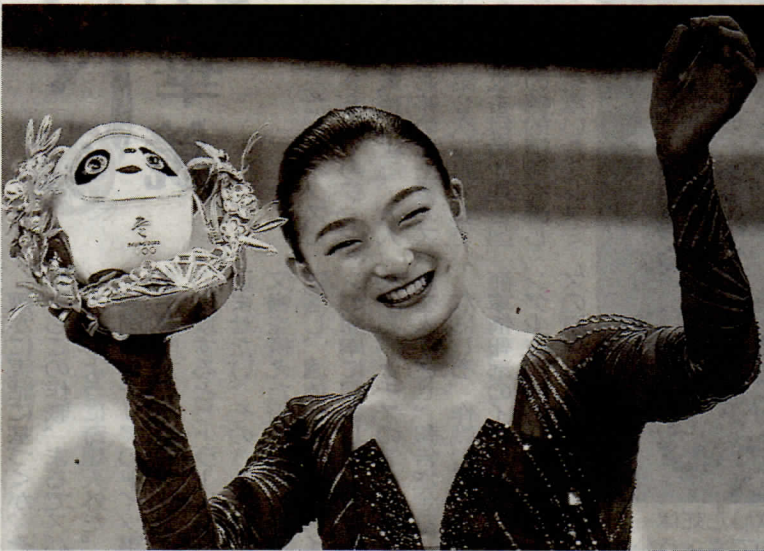
# 「必ずやる 有言実行の人」

## 坂本選手に大学恩師賛辞

北京  
Beijing  
Olympics 2022

ぶりとなるメダルに輝いた偉業に、在籍する大学の恩師は「有言実行の人。やり遂げてくれると信じていた」と惜しめない賛辞を贈った。

北京冬季五輪のフィギュアスケートで17日、神戸市出身の坂本花織選手(21)が躍動した。団体に続き、個人戦でも銅メダルを獲得。女子シングルでは12年



表彰式で笑顔を見せる坂本選手(北京) 上間孝司撮影

演技を終えると、ガッツポで卒業したいです」ときつぱりで会心の笑顔を見せたり。同教授によると、坂本選手の将来の目標はスケート指導者だ。大学でも「3位に入ったことは正直驚き」と喜びをかみしめた。組織運営やリーダーシップ「とにかく自己管理が徹底している。さすがオリンピックアンといつも感心していた」。神戸学院大経営学部で教える田中康介教授は、現在3年生の坂本選手をこう評する。

入学前のオープンキャンパスでは、はにかんだ笑顔が印象的だった。当時、既に2018年の平昌冬季五輪に出場し、名前も顔も知られていたが、ごく普通の高校生に見えたという。入学後に坂本選手に接してみて分かったのは、困難に立ち向かう気持ちの強さだ。練習や遠征で多忙な日々を送っていても、大学で出された課題は期限内に遅れることなく提出。「しかも、書いたリポートの内容は毎回、とても良かった」と田中教授は語る。

大学では、海外留学などのために休学する学生もいる。北京を目指す日々の鍛錬ははた目から見ても大変そう。田中教授は「五輪出場は大きな目標だから、休学も考えてみては」と聞いてみたことがある。

だが、坂本選手は「4年(北京)秦明日香、札幌内僚」